

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
88	F1	設定グループ No. 30 OUT1 比例周波数	0.1~100.0 秒	リレー接点出力: 20.0 電圧パルス出力: トランジスタ出力: 2.0 または 20.0
89	F2	OUT2 比例周波数	OUT1 比例周波数と同じ	
90	F3	OUT3 比例周波数	0.1~100.0 秒	電圧パルス出力: 2.0 または 20.0
91	Mf1	OUT1 比例周波数の最低 ON/OFF 時間	0~1000 ms	0
92	Mf2	OUT2 比例周波数の最低 ON/OFF 時間	0~1000 ms	0
93	Mf3	OUT3 比例周波数の最低 ON/OFF 時間	0~1000 ms	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
94	HbA1	設定グループ No. 45 ヒータ断線警報 1 (HBA1) 設定値	0.0~100.0 A 0.0: 機能なし	0.0
95	HbC1	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 遅延回数	0~255 回	5

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
96	HbA2	設定グループ No. 46 ヒータ断線警報 2 (HBA2) 設定値	0.0~100.0 A 0.0: 機能なし	0.0
97	HbC2	ヒータ断線警報 2 (HBA2) 遅延回数	0~255 回	5

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
98	MMV	設定グループ No. 51 入力 1 のマニュアル操作出力値	PID 制御、位置比例 PID 制御の場合: 入力 1 の出力リミット下 限 [加熱側] ~ 入力 1 の出力リミット上 限 [加熱側] 加熱冷却 PID 制御の場合: ~ (入力 1 の出力リミット上 限 [冷却側]) ~ (入力 1 の出力リミット上 限 [加熱側])	PID 制御、位置比例 PID 制御の場合: -5.0 加熱冷却 PID 制御の場合: 0.0
99	LEV1	入力 1 のレベル PID 設定 1	入力 1 の入力レンジ下 限 ~ 入力 1 の入力レンジ上 限 2 入力連携制御の場合: ~ (連携入力の入力レンジ下 限) ~ (連携入力の入力レンジ上 限) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 1 の 入力レンジ 上限

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
100	LEV2	入力 1 のレベル PID 設定 2	入力 1 のレベル PID 設定 1 と同じ	
101	LEV3	入力 1 のレベル PID 設定 3	入力 1 のレベル PID 設定 1 と同じ	
102	LEV4	入力 1 のレベル PID 設定 4	入力 1 のレベル PID 設定 1 と同じ	
103	LEV5	入力 1 のレベル PID 設定 5	入力 1 のレベル PID 設定 1 と同じ	
104	LEV6	入力 1 のレベル PID 設定 6	入力 1 のレベル PID 設定 1 と同じ	
105	LEV7	入力 1 のレベル PID 設定 7	入力 1 のレベル PID 設定 1 と同じ	

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
106	MMV	設定グループ No. 52 入力 2 のマニュアル操作出力値	入力 2 の出力リミット下 限 ~ 入力 2 の出力リミット上 限	-5.0
107	LEV1	入力 2 のレベル PID 設定 1	入力 2 の入力レンジ下 限 ~ 入力 2 の入力レンジ上 限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 2 の 入力レンジ 上限
108	LEV2	入力 2 のレベル PID 設定 2	入力 2 のレベル PID 設定 1 と同じ	
109	LEV3	入力 2 のレベル PID 設定 3	入力 2 のレベル PID 設定 1 と同じ	
110	LEV4	入力 2 のレベル PID 設定 4	入力 2 のレベル PID 設定 1 と同じ	
111	LEV5	入力 2 のレベル PID 設定 5	入力 2 のレベル PID 設定 1 と同じ	
112	LEV6	入力 2 のレベル PID 設定 6	入力 2 のレベル PID 設定 1 と同じ	
113	LEV7	入力 2 のレベル PID 設定 7	入力 2 のレベル PID 設定 1 と同じ	

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
114	ATFB	設定グループ No. 53 入力 1 の AT バイパス	-(入力 1 の入力レンジ) ~ (入力 1 の入力レンジ) 2 入力連携制御時: ~ (連携入力の入力レンジ) ~ (連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
115	ATFTM	入力 1 の AT 残り時間モニタ	0 時間 00 分 ~ 48 時間 00 分	
116	ATFTM	入力 1 の AT/ST 状態モニタ	0: AT/ST 終了 1: AT 実行中 2: ST 実行中 -1: 設定変更による中止 -2: 入力異常による中止 -3: タイムアウトによる中止 -4: 定数算出異常による中止	

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
117	ATFB	設定グループ No. 54 入力 2 の AT バイパス	-(入力 2 の入力レンジ) ~ (入力 2 の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	0
118	ATFTM	入力 2 の AT 残り時間モニタ	0 時間 00 分 ~ 48 時間 00 分	
119	ATFTM	入力 2 の AT/ST 状態モニタ	0: AT/ST 終了 1: AT 実行中 2: ST 実行中 -1: 設定変更による中止 -2: 入力異常による中止 -3: タイムアウトによる中止 -4: 定数算出異常による中止	

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
120	ydb	設定グループ No. 55 開閉出力中立率	出力の 0.1~10.0 %	2.0
121	yhs	開閉出力動作すま	出力の 0.1~5.0 %	1.0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
122	FFSF	設定グループ No. 57 FF 量学習	0~3 0: 学習なし +1: 入力 1 の学習 +2: 入力 2 の学習 複数の値を選択する場合は、それぞれの値を加算します。	0
123	IE*sd	入力 1 の外乱判断点	-(入力 1 の入力レンジ) ~ (入力 1 の入力レンジ) 2 入力連携制御時: ~ (連携入力の入力レンジ) ~ (連携入力の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	-1
124	ZE*sd	入力 2 の外乱判断点	-(入力 2 の入力レンジ) ~ (入力 2 の入力レンジ) [小数点位置は、小数点位置設定による]	-1

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
125	MASP	設定グループ No. 58 カスケード比例帯 (マスター側)	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 1 (0.1, 0.01) ~ 入力 1 の入力レンジ [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力 1 の入力レンジの 0.1~1000.0 %	TC/RTD 入力: 30 V/I 入力: 3.0
126	MAS1	カスケード積分時間 (マスター側)	1~3600 秒、0.1~3600.0 秒または 0.01~360.00 秒 [小数点位置は、積分/微分時間の小 数点位置設定による]	240
127	MASd	カスケード微分時間 (マスター側)	0~3600 秒、0.0~3600.0 秒または 0.00~360.00 秒 [小数点位置は、積分/微分時間の小 数点位置設定による]	60

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
128	SLVP	カスケード比例帯 (スレーブ側)	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 1 (0.1, 0.01) ~ 入力 2 の入力レンジ [小数点位置は、小数点位置設定による] 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力 2 の入力レンジの 0.1~1000.0 %	TC/RTD 入力: 30 V/I 入力: 3.0
129	SLVd	カスケード積分時間 (スレーブ側)	カスケード積分時間 (マスター側) と同じ	
130	SLVd	カスケード微分時間 (スレーブ側)	カスケード微分時間 (マスター側) と同じ	
131	CLdF	カスケードデジタルフィルタ	0.0~100.0 秒 0.0: 機能なし	10.0
132	CSCH	カスケードスケール上限	カスケードスケール下限 ~ 入力 2 の設定リミット上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 2 の 設定リミット 上限
133	CSCL	カスケードスケール下限	入力 2 の設定リミット下限 ~ カスケードスケール下限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 2 の 設定リミット 下限
134	2PV1V	2 入力連携 PV 切替レベル	入力 1 の入力レンジ下 限 ~ 入力 2 の入力レンジ上 限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 1 の 入力レンジ 上限
135	2PV2M	2 入力連携 PV 切替時間	0.0~100.0 秒	0.0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
136	1PHLd	設定グループ No. 91 入力 1 のピークホールドモニタ	入力 1 の入力レンジ下限 -(入力 1 の入力レンジの 5%) ~ 入力 1 の入力レンジ上限 +(入力 1 の入力レンジの 5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	
137	1bHLd	入力 1 のポットホールドモニタ	入力 1 のピークホールドモニタと同じ	
138	1HLdR	入力 1 のホールドリセット	Hold: ホールド ESET: リセット リセット後、自動的にホールド状態に戻ります。	Hold
139	2PHLd	入力 2 のピークホールドモニタ	入力 2 の入力レンジ下限 -(入力 2 の入力レンジの 5%) ~ 入力 2 の入力レンジ上限 +(入力 2 の入力レンジの 5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	
140	2bHLd	入力 2 のポットホールドモニタ	入力 2 のピークホールドモニタと同じ	
141	2HLdR	入力 2 のホールドリセット	入力 1 のホールドリセットと同じ	

H. エンジニアリングモード (Get) + (MODE) (2 秒)

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
142	SPCH	ファンクションブロック No. 10 STOP 表示選択	0: 測定値 (PV) 表示器に表示 1: 設定値 (SV) 表示器に表示 2: 操作出力値 (MV) 表示器に表示 * F2400/FZ900 のみ選択可能。	1
143	ALC	ALM ランプ点灯条件	0~4095 0: OFF +1: イベント 1 +2: イベント 2 +4: イベント 3 +8: イベント 4 +16: ヒータ断線警報 1 (HBA1) +32: ヒータ断線警報 2 (HBA2) +64: 制御ループ断線警報 1 (LBA1) +128: 制御ループ断線警報 2 (LBA2) +256: 入力 1 の入力異常上 限 +512: 入力 1 の入力異常下 限 +1024: 入力 2 の入力異常上 限 +2048: 入力 2 の入力異常下 限 複数の値を選択する場合は、それぞれの値を加算します。	255
144	dSOP	入力異常時の PV 点滅表示	0: 入力異常時点滅する 1: 入力異常時点滅しない	0
145	1dSV	入力 1 の SV 表示/非表示	0: 非表示 1: 入力 1 の設定値 (SV) 表示	1
146	2dSV	入力 2 の SV 表示/非表示	0: 非表示 1: 入力 2 の設定値 (SV) 表示	1
147	1dSMV	入力 1 の MV 表示/非表示	0: 非表示 1: 入力 1 の操作出力値 (MV) 表示 2: モリエリア遅延経過時間表示 3: 電流検出器 1 (CT1) 入力値表示 4: 電流検出器 2 (CT2) 入力値表示	1
148	2dSMV	入力 2 の MV 表示/非表示	0: 非表示 1: 入力 2 の操作出力値 (MV) 表示 2: モリエリア遅延経過時間表示 3: 電流検出器 1 (CT1) 入力値表示 4: 電流検出器 2 (CT2) 入力値表示	1
149	dSMon	モニタモード非表示選択	0~31 0: 非表示なし +1: リモート設定入力値モニタ +2: 操作出力値 (MV) モニタ +4: 電流検出器 (CT) 入力値モニタ +8: 総合イベント状態 +16: モリエリア遅延経過時間 複数の値を選択する場合は、それぞれの値を加算します。	0
150	dSMod	運転切替モード非表示選択	0~63 0: 非表示なし +1: RUN/STOP 切替 +2: オートチューニング (AT) +4: スタートアップチューニング (ST) +8: オート/マニュアル切替 +16: リモート/ローカル切替 (カスケードモード切替、2 入力 連携 PV 切替、2 ループ制御/ 差温制御切替) +32: 制御エリア内部 (ローカル/ 外部 (エクスターナル) 切替 複数の値を選択する場合は、それぞれの値を加算します。	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
151	SEF1	ファンクションブロック No. 11 データ確定方式選択	0: SET 方式 1: タイレクト方式	0
152	Fnc1Y	ファンクションブロック No. 11 FUNC キー割付	0: 機能なし 1: RUN/STOP 切替 2: オートチューニング (AT) (入力 1、2 共通) 3: 入力 1 のオートチューニング (AT) 4: 入力 2 のオートチューニング (AT) 5: オート/マニュアル切替 (入力 1、2 共通) 6: 入力 1 のオート/マニュアル切替 7: 入力 2 のオート/マニュアル切替 8: リモート/ローカル切替 (カスケードモード切替、2 入力 連携 PV 切替、2 ループ制御/ 差温制御切替) 9: 制御エリア内部 (ローカル/ 外部 (エクスターナル) 切替 10: インターロック解除 11: ホールドリセット (入力 1、2 共通) 12: 入力 1 のホールドリセット 13: 入力 2 のホールドリセット 14: 設定データアンロック/ロック 切替 15: エリアジャンプ	1
153	Fnc1Yp	ファンクションブロック No. 11 FUNC キー操作選択	0: 1 回押し操作 1: 長押し操作	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
154	1INP	ファンクションブロック No. 21 入力 1 の入力種類	ファンクションブロック No. 21 の 最初のパラメータ 0: 熱電対 K 1: 熱電対 J 2: 熱電対 R 3: 熱電対 S 4: 熱電対 B 5: 熱電対 E 6: 熱電対 N 7: 熱電対 T 8: 熱電対 W5ReW26Re 9: 熱電対 PL11 10: 熱電対 U 11: 熱電対 L 12: 熱電対 PR40-20 13: 測温抵抗体 Pt100 14: 測温抵抗体 JPt100 15: 電流 DC 0~20 mA 16: 電流 DC 4~20 mA 17: 電圧 DC 0~10 V 18: 電圧 DC 0~5 V 19: 電圧 DC 1~5 V 20: 電圧 DC 0~1 V 21: 電圧 DC -10~+10 V 22: 電圧 DC -5~+5 V 23: 電圧 DC 0~100 mV 24: 電圧 DC 0~10 mV	型式コード による

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
155	1UNIF	入力 1 の表示単位	0: °C 1: °F	型式コード による
156	1PGdP	入力 1 の小 数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁 2: 小数点以下 2 桁 3: 小数点以下 3 桁 4: 小数点以下 4 桁 熱電対 (TC) 入力: W5ReW26Re、PR40-20: 0 (固定) 上記以外の熱電対: 0~1 測温抵抗体 (RTD) 入力: 0~2 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力データタイプ「0」: 0~4 入力データタイプ「1」: 0~3 2 入力連携制御時: 入力 1 と入力 2 の小 数点位置設定 で小さい方の値を採用	型式コード による
157	1PGSH	入力 1 の 入力レンジ上限	(入力 1 の入力レンジ下限 + 1digit) ~ 入力 1 の入力レンジ最大値 [小数点位置は、小数点位置設定による]	型式コード による
158	1PGSL	入力 1 の 入力レンジ下限	入力 1 の入力レンジ最小値 ~ (入力 1 の入力レンジ上限 - 1digit) [小数点位置は、小数点位置設定による]	型式コード による
159	1PoV	入力 1 の 入力異常判断 点上限	入力 1 の入力異常判断点下 限 ~ 入力 1 の入力レンジ上 限 + (入力 1 の入力レンジの 5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 1 の入 力レンジ上 限 + (入力 1 の入力レンジ の 5%)
160	1PUN	入力 1 の 入力異常判断 点下限	入力 1 の入力レンジ下 限 - (入力 1 の入力レンジの 5%) * ~ 入力 1 の入力異常判断点下 限 [小数点位置は、小数点位置設定による] * 入力 1 の種類が RTD 入力 のときは、下 限値は約 2 0 相当の値になり ます。 (Pt100: -245.5°C [-409.8°F], JPt100: -237.6°C [-395.7°F])	入力 1 の入 力レンジ下 限 - (入力 1 の入力レンジ の 5%)

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
161	1FCUC	入力 1 の 温度補償演算	0: 温度補償演算なし 1: 温度補償演算あり	1
162	1boS	入力 1 の パンアウト 方向	0: アップスケール 1: ダウンスケール	0
163	1SGR	入力 1 の 開平演算	0: 開平演算なし 1: 開平演算あり	0
164	1INV	入力 1 の 反転入力	0: 反転しない 1: 反転する	0
165	1INDr	入力データ タイプ	0: 測定値桁数 5 桁 RKC 通信桁数 7 桁 MODBUS データ: ダブルワード PLC 通信データ: ダブルワード (システムデータはシングルワード) 時間単位表示 F2400/FZ900: 時/分/秒、時/分/秒 FZ110: 時/分、分/秒 1: 測定値桁数 4 桁 RKC 通信桁数 6 桁 * MODBUS データ: シングルワード 時間単位表示: 時/分、分/秒 * RKC 通信で、当社製 REX-D シリ ーズ相当データを扱う場合は、設定を 「2」にしてください。 ** 当社製 FB シリ ーズ相当データ含む。	型式コード による

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
166	2INP	ファンクション ブロック No. 22 入力 2 の 入力種類	ファンクションブロック No. 22 の 最初のパラメータ 入力 1 の入力種類と同じ ただし、機種によって設定範囲が異なる * 注文時に FZ400/FZ900 で測定入力 2 を選択した 場合: 0~24 * 注文時に FZ400/FZ900 でリモート設定入力を選 択した場合: 15~24 * 注文時に FZ110 でリモート設定入力を選択した 場合: 15~22	
167	2UNIF	入力 2 の 表示単位	入力 1 の表示単位と同じ	
168	2PGdP	入力 2 の 小 数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下 1 桁 2: 小数点以下 2 桁 3: 小数点以下 3 桁 4: 小数点以下 4 桁 熱電対 (TC) 入力: W5ReW26Re、PR40-20: 0 (固定) 上記以外の熱電対: 0~1 測温抵抗体 (RTD) 入力: 0~2 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力データタイプ「0」: 0~4 入力データタイプ「1」: 0~3	型式コード による
169	2PGSH	入力 2 の 入力レンジ上限	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力 および電圧 (V)/電流 (I) 入力 (リモート設定入力以外の場合): (入力 2 の入力レンジ下限 + 1digit) ~ 入力 2 の入力レンジ最大値 電圧 (V)/電流 (I) 入力 (リモート設 定入力の場合): (入力 2 の入力レンジ下限 + 1digit) ~ (入力 2 の入力レンジ最大値) [小数点位置は、小数点位置設定による]	型式コード による
170	2PGSL	入力 2 の 入力レンジ下限	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力 および電圧 (V)/電流 (I) 入力 (リモート設定入力以外の場合): 入力 2 の入力レンジ最小値 ~ (入力 2 の入力レンジ上限 - 1digit) 電圧 (V)/電流 (I) 入力 (リモート設 定入力の場合): 入力 1 の入力レンジ最小値 ~ (入力 2 の入力レンジ上限 - 1digit) [小数点位置は、小数点位置設定による]	型式コード による

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
171	2PoV	入力 2 の 入力異常判断 点上限	入力 2 の入力異常判断点下 限 ~ 入力 2 の入力レンジ上 限 + (入力 2 の入力レンジの 5%) [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力 2 の入 力レンジ上 限 + (入力 2 の入力レンジ の 5%)
172	2PUN	入力 2 の 入力異常判断 点下限	入力 2 の入力レンジ下 限 - (入力 2 の入力レンジの 5%) * ~ 入力 2 の入力異常判断点下 限 [小数点位置は、小数点位置設定による] * 入力 2 の種類が RTD 入力 のときは、下 限値は約 2 0 相当の値になり ます。 (Pt100: -245.5°C [-409.8°F], JPt100: -237.6°C [-395.7°F])	入力 2 の入 力レンジ下 限 - (入力 2 の入力レンジ の 5%)
173	2FCUC	入力 2 の 温度補償演算	0: 温度補償演算なし 1: 温度補償演算あり	1
174	2boS	入力 2 の パンアウト 方向	0: アップスケール 1: ダウンスケール	0
175	2SGR	入力 2 の 開平演算	0: 開平演算なし 1: 開平演算あり	0
176	2INV	入力 2 の 反転入力	0: 反転しない 1: 反転する	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
177	d1SL1	ファンクション ブロック No. 23 OUT1 機能選択	ファンクションブロック No. 23 の 最初のパラメータ 0: 機能なし 1: RUN/STOP 切替 2: オート/マニュアル切替 (入力 1、2 共通) 3: 入力 1 のオート/マニュアル切替 4: 入力 2 のオート/マニュアル切替 5: リモート/ローカル切替 (カスケードモード切替、 2 入力連携 PV 切替、 2 ループ制御/差温制御切替) 6: インターロック解除 7: ホールドリセット (入力 1、2 共通) 8: 入力 1 のホールドリセット 9: 入力 2 のホールドリセット 10: オートチューニング (AT) (入力 1、2 共通) 11: 入力 1 のオートチューニング (AT) 12: 入力 2 のオートチューニング (AT) 13: 設定データアンロック/ロック 切替 14: 正動作/逆動作切替 15: エリア切替 (2 点 SET 信号なし) 16: エリア切替 (8 点 SET 信号あり) 17: エリア切替 (8 点 SET 信号あり) 18: エリア切替 (16 点 SET 信号なし) 19: エリア切替 (16 点 SET 信号あり) 20: エリアジャンプ	型式コード による

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
178	d1SL2	OUT2 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	型式コード による
179	d1SL3	OUT3 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	型式コード による
180	d1SL4	OUT4 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	型式コード による
181	d1SL5	OUT5 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	型式コード による
182	d1SL6	OUT6 機能選択	0~14 D11 機能選択の設定 0~14 と同じ	型式コード による
183	d1INV	OUT 論理反転	0~31 0: 論理反転なし +1: RUN/STOP 切替 +2: オート/マニュアル切替 +4: リモート/ローカル切替 (カスケードモード切替、 2 入力連携 PV 切替、 2 ループ制御/差温制御切替) +8: 設定データアンロック/ロック 切替 +16: 正動作/逆動作切替 複数の値を選択する場合は、それぞれの値 を加算します。	0
184	d1FM	エリア切替時間 (SET 信号なし)	1~5 秒	2

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
185	oSL1	ファンクション ブロック No. 30 OUT1 機能選択	ファンクションブロック No. 30 の 最初のパラメータ 0: 割付なし 1: 入力 1 の制御出力 [加熱側] または [冷却側] 2: 入力 1 の制御出力 [冷却側] または [加熱側] 3: 入力 2 の制御出力 4: 伝送出力 5: 論理演算出力 6: RUN 状態出力 7: 入力 1 のマニュアルモード状態出力 8: 入力 2 のマニュアルモード状態出力 9: リモートモード状態出力 (カスケード制御制御出力、 差温制御制御出力、 2 入力連携制御の入力 2 状態出力) 10: 入力 1 のオートチューニング (AT) 状態出力 11: 入力 2 のオートチューニング (AT) 状態出力 12: 入力 1 の設定値変化中 13: 入力 2 の設定値変化中 14: 通信監視結果の出力 15: FAIL 出力 (非固定)	型式コード による
186	oSL2	OUT2 機能選択	OUT1 機能選択と同じ	型式コード による
187	oSL3	OUT3 機能選択	OUT1 機能選択と同じ	4
188	oL1	OUT1 論理演算 選択	0~4095 0: OFF +1: イベント 1 +2: イベント 2 +4: イベント 3 +8: イベント 4 +16: ヒータ断線警報 1 (HBA1) +32: ヒータ断線警報 2 (HBA2) +64: 制御ループ断線警報 1 (LBA1) +128: 制御ループ断線警報 2 (LBA2) +256: 入力 1 の入力異常上 限 +512: 入力 1 の入力異常下 限 +1024: 入力 2 の入力異常上 限 +2048: 入力 2 の入力異常下 限 複数の値を選択する場合は、それぞれの値 を加算します	

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
196	RHS1	伝送出力1スケール上	伝送出力なし、入力1の測定値(PV)、入力1のローカルSV値、入力1のSVモニタ値、リモート設定入力値の場合 入力1の入力レンジ下限 ~入力1の入力レンジ上限 [2入力連携制御時: ~連携入力の入力レンジ下限 ~連携入力の入力レンジ上限] [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力1の偏差値の場合 ~(入力1の入力スパン) ~(入力1の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力2の測定値(PV)、入力2のローカルSV値、入力2のSVモニタ値の場合 入力2の入力レンジ下限 ~入力2の入力レンジ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力2の偏差値の場合 ~(入力2の入力スパン) ~(入力2の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 操作出力値の場合 5.0~+105.0% 電流検出器(CT)入力値の場合 0.0~100.0% 差温入力の測定値(PV)の場合 ~(入力1の入力スパン) ~(入力1の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電流検出器(CT)入力値 100.0 差温入力の測定値(PV):100	伝送出力なし、入力1の測定値(PV)、入力1のローカルSV値、入力1のSVモニタ値、リモート設定入力値の場合 入力1の入力レンジ下限 ~入力1の入力レンジ上限 [2入力連携制御時: ~連携入力の入力レンジ下限 ~連携入力の入力レンジ上限] [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力1の偏差値の場合 ~(入力1の入力スパン) ~(入力1の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力2の測定値(PV)、入力2のローカルSV値、入力2のSVモニタ値の場合 入力2の入力レンジ下限 ~入力2の入力レンジ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力2の偏差値の場合 ~(入力2の入力スパン) ~(入力2の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 操作出力値の場合 5.0~+105.0% 電流検出器(CT)入力値の場合 0.0~100.0% 差温入力の測定値(PV)の場合 ~(入力1の入力スパン) ~(入力1の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電流検出器(CT)入力値 100.0 差温入力の測定値(PV):100
197	RLS1	伝送出力1スケール下	データ範囲は、伝送出力1スケール上と同じ [出荷値] *伝送出力なし、入力1の測定値(PV)、入力1のローカルSV値、入力1のSVモニタ値、リモート設定入力値 *入力1の入力レンジ下限 (2入力連携:連携入力の入力レンジ下限) *入力1の偏差値:~(入力1の入力スパン) *入力2の測定値(PV)、入力2のローカルSV値、入力2のSVモニタ値:入力2の入力レンジ下限 *入力2の偏差値:~(入力2の入力スパン) *操作出力値、電流検出器(CT)入力値:0.0 *差温入力の測定値(PV):100	伝送出力なし、入力1の測定値(PV)、入力1のローカルSV値、入力1のSVモニタ値、リモート設定入力値の場合 入力1の入力レンジ下限 ~入力1の入力レンジ上限 [2入力連携制御時: ~連携入力の入力レンジ下限 ~連携入力の入力レンジ上限] [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力1の偏差値の場合 ~(入力1の入力スパン) ~(入力1の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力2の測定値(PV)、入力2のローカルSV値、入力2のSVモニタ値の場合 入力2の入力レンジ下限 ~入力2の入力レンジ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による] 入力2の偏差値の場合 ~(入力2の入力スパン) ~(入力2の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 操作出力値の場合 5.0~+105.0% 電流検出器(CT)入力値の場合 0.0~100.0% 差温入力の測定値(PV)の場合 ~(入力1の入力スパン) ~(入力1の入力スパン) [小数点位置は、小数点位置設定による] 電流検出器(CT)入力値 100.0 差温入力の測定値(PV):100
198	R02	伝送出力2種類	伝送出力1種類と同じ	0
199	RHS2	伝送出力2スケール上	伝送出力1スケール上と同じ	0
200	RLS2	伝送出力2スケール下	伝送出力1スケール下と同じ	0
201	R03	伝送出力3種類	伝送出力1種類と同じ	1
202	RHS3	伝送出力3スケール上	伝送出力1スケール上と同じ	0
203	RLS3	伝送出力3スケール下	伝送出力1スケール下と同じ	0
204	doSL1	DO1機能選択	0: 割付なし 1: 論理演算出力 (イベント、HBA、LBA、入力異常) 2: RUN状態出力 3: 入力1のマニュアルモード状態出力 4: 入力2のマニュアルモード状態出力 5: リモートモード状態出力 (カスケード制御状態出力、差温制御状態出力、2入力連携制御の入力2状態出力) 6: 入力1のオートチューニング(AT)状態出力 7: 入力2のオートチューニング(AT)状態出力 8: 入力1の設定値変化中出力 9: 入力2の設定値変化中出力 10: 通信監視結果の出力 11: FAIL出力(非励磁固定)	型式コードによる
205	doSL2	DO2機能選択	DO1機能選択と同じ	0
206	doSL3	DO3機能選択	DO1機能選択と同じ	0
207	doSL4	DO4機能選択	DO1機能選択と同じ	0
208	doLG1	DO1論理演算選択	0~4095 +0: OFF +1: イベント1 +2: イベント2 +3: イベント3 +4: イベント4 +5: イベント5 +16: ヒータ断線警報1(HBA1) +32: ヒータ断線警報2(HBA2) +64: 制御ループ断線警報1(LBA1) +128: 制御ループ断線警報2(LBA2) +256: 入力1の入力異常上 +512: 入力1の入力異常下 +1024: 入力2の入力異常上 +2048: 入力2の入力異常下 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	型式コードによる
209	doLG2	DO2論理演算選択	DO1論理演算選択と同じ	0
210	doLG3	DO3論理演算選択	DO1論理演算選択と同じ	0
211	doLG4	DO4論理演算選択	DO1論理演算選択と同じ	0
212	EV1	イベント1割付	1: 入力1用 2: 入力2用 3: 差温入力用	1
213	ES1	イベント1種類	0: イベント機能なし 1: 上限偏差(SVモニタ値使用)* 2: 下限偏差(SVモニタ値使用)* 3: 上下限偏差(SVモニタ値使用)* 4: 範囲内偏差(SVモニタ値使用)* 5: 上下限偏差(SVモニタ値使用) [上限:下限個別設定] 6: 範囲内偏差(SVモニタ値使用) [上限:下限個別設定] 7: 上限設定値(SVモニタ値使用) 8: 下限設定値(SVモニタ値使用) 9: 上限入力値 10: 下限入力値 11: 上限偏差(ローカルSV値使用)* 12: 下限偏差(ローカルSV値使用)* 13: 上下限偏差(ローカルSV値使用)* 14: 範囲内偏差(ローカルSV値使用)* 15: 上下限偏差(ローカルSV値使用) [上限:下限個別設定] 16: 範囲内偏差(ローカルSV値使用) [上限:下限個別設定] 17: 上限設定値(ローカルSV値使用) 18: 下限設定値(ローカルSV値使用) 19: 上限操作出力値[加熱側] 20: 下限操作出力値[加熱側] 21: 上限操作出力値[冷却側] 22: 下限操作出力値[冷却側] 23: 上下限入力値 [上限:下限個別設定] 24: 範囲内入力値 [上限:下限個別設定] *待機および再待機動作の選択が可能です。 *位置比例PID制御、かつ開度帰還抵抗(FBR)入力ありの場合に、開度帰還抵抗(FBR)入力になります。	注文時に、イベント種類コードを指定した場合は、イベント種類コードによって待機動作の出荷値が異なる。 イベント種類コード指定なしの場合:0
214	EH01	イベント1待機動作	0: 待機なし 1: 待機あり 2: 再待機あり	注文時に、イベント種類コードを指定した場合は、イベント種類コードによって待機動作の出荷値が異なる。 イベント種類コード指定なしの場合:0
215	EH1	イベント1動作すま	偏差、入力値、設定値 *イベント割付が1または差温入力 0~入力1の入力スパン (2入力連携制御時) 0~連携入力の入力スパン *イベント割付が2 0~入力2の入力スパン [小数点位置は、小数点位置設定による] 操作出力値: 0.0~110.0%	偏差、入力値、設定値 TC/RTD入力: 2 V/I入力: 入力1の入力スパンの0.2% 操作出力値: 0.2

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
216	EV1	イベント1タイム	0.0~600.0秒	0.0
217	F042	ファンクションブロックNo.42の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.42の初期パラメータ	0
218	EV2	イベント2割付	イベント1割付と同じ	0
219	ES2	イベント2種類	イベント1種類と同じ	0
220	EH02	イベント2待機動作	イベント1待機動作と同じ	0
221	EV2	イベント2タイム	イベント1タイムと同じ	0
222	F043	ファンクションブロックNo.43の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.43の初期パラメータ	0
223	EV3	イベント3割付	イベント1割付と同じ	0
224	ES3	イベント3種類	イベント1種類と同じ	0
225	EH03	イベント3待機動作	イベント1待機動作と同じ	0
226	EV3	イベント3タイム	イベント1タイムと同じ	0
227	F044	ファンクションブロックNo.44の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.44の初期パラメータ	0
228	EV4	イベント4割付	イベント1割付と同じ	0
229	ES4	イベント4種類	イベント1種類と同じ	0
230	EH04	イベント4待機動作	イベント1待機動作と同じ	0
231	EV4	イベント4タイム	イベント1タイムと同じ	0
232	F045	ファンクションブロックNo.45の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.45の初期パラメータ	0
233	CT1	CT1種類	0: なし 1: OUT1 2: OUT2 3: OUT3	1
234	CT1	CT1レシオ	0~9999 CT種類: CTL-6-P-N: 800 CTL-12-S56-10L-N: 1000 CTL-6-P-Z: 800	型式コードによる
235	CLC1	CT1低入力カットオフ	0.0~1.0A	0.0
236	F046	ファンクションブロックNo.46の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.46の初期パラメータ	0
237	CT2	CT2種類	CT1種類と同じ	0
238	CT2	CT2レシオ	CT1レシオと同じ	0
239	CLC2	CT2低入力カットオフ	CT1低入力カットオフと同じ	0
240	Pd	ホット/コールドスタート	0: ホットスタート 1: ホットスタート2 2: コールドスタート 3: STOPスタート	0
241	MVFS	マニュアル操作出力値選択	0: 直前の操作出力値 (バランス・パンプレス機能) 1: マニュアル操作出力値	0
242	FRK	SVトラッキング	0~3 0: SVトラッキングなし +1: リモート/ローカル切替時のSVトラッキング +2: オート/マニュアル切替時のSVトラッキング *カスケードモード切替、2ループ制御/差温制御切替含む 複数を指定する場合は、それぞれの値を加算します。	1
243	IdP	積分/微分時間の小数点位置	0: 小数点なし 1: 小数点以下1桁 2: 小数点以下2桁	0
244	SFS	ST起動条件	0: 電源ON時、STOP→RUN切替時、または設定値(SV)変更時 1: 電源ON時、またはSTOP→RUN切替時 2: 設定値(SV)変更時	0
245	I05	ファンクションブロックNo.51の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.51の初期パラメータ	0
246	I0RU	入力1の出力変化率リミッタ上昇[加熱側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
247	I0RD	入力1の出力変化率リミッタ下降[加熱側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
248	I0RVE	入力1の入力異常時動作上限	0: 制御続行(現状の出力) 1: 入力異常時の操作出力(マニュアルモード) 2: 入力異常時の操作出力(オートモード)	2
249	I0RINE	入力1の入力異常時動作上限	入力1の入力異常時動作上限と同じ	2
250	I0PSM	入力1の入力異常時操作出力値	PID制御、位置比例PID制御の場合: -5.0~+105.0% 加熱冷却PID制御の場合: -105.0~+105.0%	PID制御、位置比例PID制御: -5.0 加熱冷却PID制御: 0.0
251	I0RMV	入力1のSTOP時操作出力値[加熱側]	-5.0~+105.0%	-5.0
252	I0PdR	入力1のスタート判断点	0~入力1の入力スパン [2入力連携制御時: 0~連携入力の入力スパン] 0: ホット/コールドスタートの動作に従う [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入力スパンの3% 2入力連携:連携入力の入力スパンの3%
253	I0LPI	入力1のレベルPID動作選択	0: メモリエリア番号による切替 1: 設定値(SV)による切替(レベルPID動作) 2: 測定値(PV)による切替(レベルPID動作)	0
254	I0LHS	入力1のレベルPID動作すま	0~入力1の入力スパン [2入力連携制御時: 0~連携入力の入力スパン] [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 2 V/I入力: 入力1の入力スパンの0.2% 2入力連携:連携入力の入力スパンの0.2%
255	F052	ファンクションブロックNo.52の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.52の初期パラメータ	0
256	I0OS	入力2の制御動作	0: プリアンプPID制御(正動作) 1: プリアンプPID制御(逆動作) 2: プリアンプ加熱冷却PID制御(正動作)	型式コードによる

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
256	I0ORU	入力2の出力変化率リミッタ上昇	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
257	I0ORD	入力2の出力変化率リミッタ下降	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
258	I0R0VE	入力2の入力異常時動作上限	0: 制御続行(現状の出力) 1: 入力異常時の操作出力(マニュアルモード) 2: 入力異常時の操作出力(オートモード)	2
259	I0R0INE	入力2の入力異常時動作上限	入力2の入力異常時動作上限と同じ	2
260	I0PSM	入力2の入力異常時操作出力値	-5.0~+105.0%	-5.0
261	I0RMV	入力2のSTOP時操作出力値[加熱側]	-5.0~+105.0%	-5.0
262	I0PdR	入力2のスタート判断点	0~入力2の入力スパン 0: ホット/コールドスタートの動作に従う [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入力スパンの3%
263	I0LPI	入力2のレベルPID動作選択	0: メモリエリア番号による切替 1: 設定値(SV)による切替(レベルPID動作) 2: 測定値(PV)による切替(レベルPID動作)	0
264	I0LHS	入力2のレベルPID動作すま	0~入力2の入力スパン [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 2 V/I入力: 入力2の入力スパンの0.2%
265	I0YBR	開度帰還抵抗(FBR)入断線時の動作	0: STOP時のバルブ動作設定に従う 1: 制御動作継続	0
266	I0POS	開度調整	シフトキーを5秒間押しと、自動的に開度調整を開始します。 Adj: 調整終了 oPEn: 開(オープン)側調整中 Lo55: 閉(クローズ)側調整中 Err: 調整エラー	Adj
267	I0MoR	コントロールモータ時間	5~1000秒	10
268	I0oLR	積算出力リミッタ	0.0~200.0% 0.0: 機能なし	150.0
269	I0VRL	STOP時のバルブ動作	0: 閉側出力OFF、開側出力OFF 1: 閉側出力ON、開側出力OFF 2: 閉側出力OFF、開側出力ON	0
270	I0YRSO	開度出力保持機能	0: 無効 1: 有効	0
271	I0ORUC	入力1の出力変化率リミッタ上昇[冷却側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
272	I0ORDC	入力1の出力変化率リミッタ下降[冷却側]	操作出力の0.0~1000.0%/秒 0.0: 機能なし	0.0
273	I0RMVC	入力1のSTOP時操作出力値[冷却側]	-5.0~+105.0%	-5.0
274	I0US	アンダーシュート抑制係数	0.000~1.000	水冷:0.100 空冷:0.250 冷却リニア: 1.000
275	I0dBP	オーバーラップ/デッドバンド基準点	0.0~1.0	0.0
276	I0bMSP	ポート抑制機能	0: 機能なし 1: レベルでFF量加算 2: FF量強制加算	0
277	I0ZPY	入力2の用途選択	0: 機能なし 1: リモート設定入力 2: 2ループ制御/差温制御 3: 2入力連携制御 4: カスケード制御(スレーブシングル ↔ カスケード) 5: カスケード制御(マスターシングル ↔ カスケード) 6: 入力回路異常警報	型式コードによる
278	I0MASAR	カスケード-ATモード(マスター側)	0: 簡易調整モード(AT1回) 1: 負荷調整モード(AT2回)	TC/RTD入力: 0 V/I入力: 1
279	I0SLVAR	カスケード-ATモード(スレーブ側)	0: 簡易調整モード(AT1回) 1: 負荷調整モード(AT2回)	TC/RTD入力: 0 V/I入力: 1
280	I0ZPYFG	2入力連携PV切替トリガ選択	0: レベルで切替 1: 番号で切替(キー、DI、通信)	0
281	I0ICR	入力回路異常警報設定値	0~入力1の入力スパン 0: 機能なし [小数点位置は、小数点位置設定による]	TC/RTD入力: 10 V/I入力: 入力1の入力スパンの5%
282	I0CMPS	通信プロトコル選択	0: RKC通信 1: MODBUS (データ転送順序: 上位ワード→下位ワード) 2: MODBUS (データ転送順序: 下位ワード→上位ワード) 3: PLC通信 (三菱電機製PLC通信プロトコルQnA互換3Cフレーム形式4)	型式コードによる
283	I0Add	デバイスアドレス	RKC通信: 0~99 MODBUS: 1~99 PLC通信: 0~30	RKC通信:0 MODBUS:1 PLC通信:0
284	I0bPS	通信速度	0: 2400bps 1: 4800bps 2: 9600bps 3: 19200bps 4: 38400bps 5: 57600bps	3
285	I0bIF	データビット構成	0~11 データビット構成表参照	0
286	I0INR	インターバル時間	0~250ms	10
287	I0CMRM	通信応答モニタ	0~110F 一位の桁: 0: 通信応答正常 1: オーバーランエラー 2: パリティエラー 4: フレームエラー 8: 受信バッファオーバーフロー 複数の状態が発生している場合は、それぞれの値が加算されます。ただし、16進数表示(0~F)になります。 十位の桁: [0]固定 百位の桁: 受信状態モニタ* 千位の桁: 送信状態モニタ* * 番号が受信または送信されるたびに、0と1を交互に表示します。 万位の桁: 消灯	0
288	I0MPREG	レジスタ種類	0: Dレジスタ(データレジスタ) 1: Rレジスタ(ファイルレジスタ) 2: Wレジスタ(リンクレジスタ) 3: ZRレジスタ (Rレジスタの32767を超えたときの連番指定方法)	0

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
289	I0MP5RH	レジスタ開始番号(上位4ビット)	0~15	0
290	I0MP5RL	レジスタ開始番号(下位16ビット)	0~65535	1000
291	I0MPMod	モニタ項目レジスタバイアス	12~65535	12
292	I0MP5FB	設定項目レジスタバイアス	0~65535	0
293	I0MPLFM	計器リンク認識時間	0~255秒	5
294	I0MPFMO	PLC応答待ち時間	0~3000ms	255
295	I0MP5FM	PLC通信開始時間	1~255秒	5
296	I0MP5SLB	スレーブレジスタバイアス	0~65535	80
297	I0MPMAD	計器認識台数	0~30	8
298	I0F070	ファンクションブロックNo.70の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.70の初期パラメータ	0
299	I0SVRT	設定変率単位時間	1~3600秒	60
300	I0SLH	入力1の設定リミッタ上限	入力1の設定リミッタ下限 ~入力1の入力レンジ上限 [2入力連携制御の場合: 入力1の設定リミッタ下限 ~連携入力の入力レンジ上限] [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入力レンジ上限 2入力連携:連携入力の入力レンジ上限
301	I0SLL	入力1の設定リミッタ下限	入力1の入力レンジ下限 ~入力1の設定リミッタ上限 [2入力連携制御の場合: 連携入力の入力レンジ下限 ~入力1の設定リミッタ下限] [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力1の入力レンジ下限 2入力連携:連携入力の入力レンジ下限
302	I0SLH	入力2の設定リミッタ上限	入力2の設定リミッタ下限 ~入力2の入力レンジ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入力レンジ上限
303	I0SLL	入力2の設定リミッタ下限	入力2の入力レンジ下限 ~入力2の設定リミッタ上限 [小数点位置は、小数点位置設定による]	入力2の入力レンジ下限
304	I0F091	ファンクションブロックNo.91の初期パラメータ	ファンクションブロックNo.91の初期パラメータ	0
305	I0dEF	初期化	1225: 初期化実行 上記以外: 設定値保持 初期化実行後、自動的に0に戻ります	0
306	I0WR	積算稼働時間	0~65535時間	0
307	I0FCU	周囲温度ピークホルドモニタ	-120~+120℃	0
308	I0RoM	ROMバージョン表示	搭載しているROMバージョンを表示	0
309	I0FZ900	型式モニタ	型式コードを表示 アップ/ダウンキーで表示のスクロール(左右)が可能	0
310	I00000	計器番号モニタ	計器番号を表示	0

設定値	データビット	パリティビット	ストップビット
0	8	なし	1
1	8	なし	2
2	8	偶数	1
3	8	偶数	2
4	8	奇数	1
5	8	奇数	2
6	7	なし	1
7	7	偶数	2
8	7	奇数	1
9	7	偶数	2
10	7	奇数	1
11	7	奇数	2

■: MODBUS時は設定不可

パラメータセレクト機能の使用法

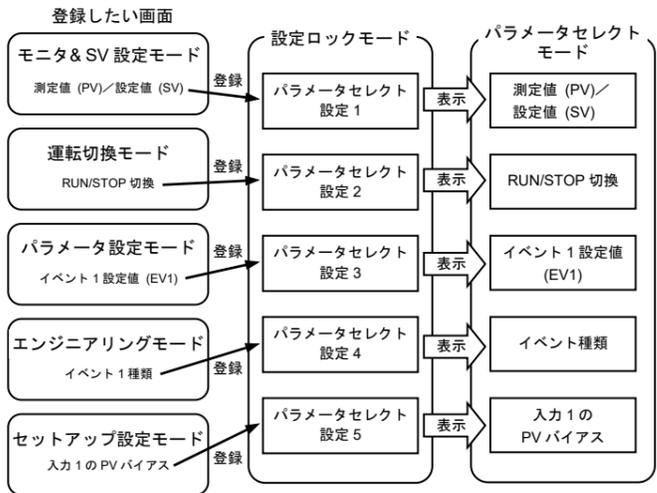
本機器には、見たい画面だけを1つに集めて表示する「パラメータセレクト機能」があります。
 任意の画面を登録することで、最大16画面まで集めることができます。

■ パラメータセレクト機能の概要

必要な画面だけを登録して、1つのモードに表示するのがパラメータセレクト機能です。設定ロックモードのパラメータセレクト設定で登録した画面は、パラメータセレクトモードに表示されます。パラメータセレクトモードに表示される画面は、元のモードで表示している画面と同じ操作ができます。

パラメータセレクト機能では、設定ロックモードの画面とエンジニアリングモードのファンクションブロック No. 91の画面は登録できません。

[パラメータセレクト機能のイメージ]



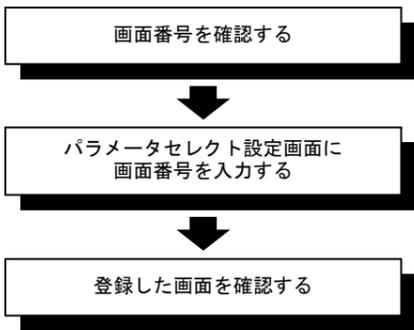
■ 画面の登録方法

画面の登録には2つの方法があります

● 画面番号入力方式

設定ロックモードにあるパラメータセレクト設定画面に、あらかじめ割り付けられている画面番号を入力すると、パラメータセレクトモードに登録した画面が表示されます。パラメータセレクト設定画面は1から16まであるので、任意に設定可能です。登録していない画面があっても、パラメータセレクトモードでは詰めて表示します。

[画面登録手順]



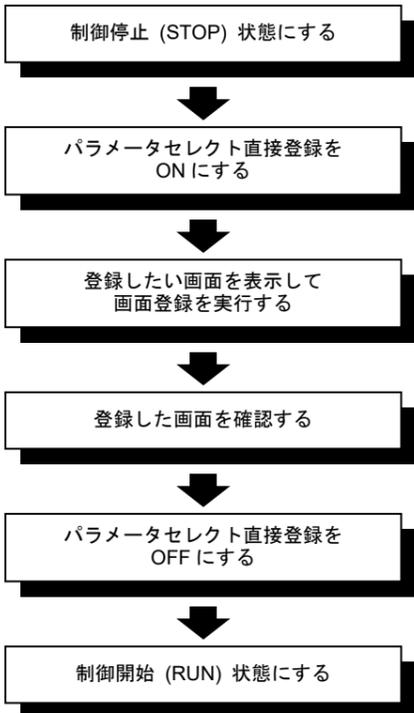
● 直接登録方式

設定ロックモードにある「パラメータセレクト直接登録」画面で、直接登録方式を有効にした後、登録したい画面を表示して [MODE+] キーと [MODE-] キーを両方押しすると、パラメータセレクト設定画面に登録されます。

直接登録する場合は、制御停止 (STOP) 状態にする必要があります。

「パラメータセレクト直接登録」画面で、直接登録方式を有効にすると、設定ロックモード以外は強制的に設定データロック状態になります。

[画面登録手順]



直接登録方式の設定例については、別冊の FZ110/FZ400/FZ900 取扱説明書 [パラメータ/機能編] (IMR03A05-J) を参照してください。

[画面番号入力方式の登録例]

以下の画面を、画面番号入力方式で登録します。

- 入力1の測定値 (PV)/入力1の設定値 (SV)
- RUN/STOP 切替
- イベント1設定値 (EV1)

登録先は、パラメータセレクト設定1~3とします。

1. 登録する画面番号を調べます。画面番号はパラメーター一覧 (本書) の表に記載されています。

No.	記号	名称	データ範囲	出荷値
15	R/S	RUN/STOP 切替	rUn: RUN (制御開始) StoP: STOP (制御停止)	rUn

各画面の画面番号

- 入力1の測定値 (PV)/入力1の設定値 (SV): 1
- RUN/STOP 切替: 15
- イベント1設定値 (EV1): 27

2. 設定ロックモードのパラメータセレクト設定画面に画面番号を設定します。

A. モニタ & SV 設定モード

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

[SET] (4秒以上)*

* [SET] キーを長押しすると、一度パラメータ設定モードを表示しますが、そのまま指を離さず押し続けると、設定ロックモードに切り換わります。

D. 設定ロックモード

設定データ
アンロック
/ロック切替

LoCK
oFF

[SET] 4回または5回押す

パラメータ
セレクト設定 1

PSL01
00000

入力1の測定値 (PV)/入力1の設定値 (SV) の画面番号「1」を設定する

[MODE+] 1回押す

PSL01
00001

パラメータ
セレクト設定 2

PSL02
00000

RUN/STOP 切替の画面番号「15」を設定する

[MODE+] 5回、[MODE-] 1回、[MODE+] 1回

PSL02
00015

パラメータ
セレクト設定 3

PSL03
00000

イベント1設定値 (EV1) の画面番号「27」を設定する

[MODE+] 7回、[MODE-] 1回、[MODE+] 2回

PSL03
00027

パラメータ
セレクト設定 4

PSL04
00000

画面登録終了

[SET] + [MODE]

A. モニタ & SV 設定モード

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

3. 登録した画面を確認します。

A. モニタ & SV 設定モード

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

[MODE+] + [MODE-]

B. パラメータセレクトモード

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

パラメータセレクト設定1で設定した入力1の測定値 (PV)/入力1の設定値 (SV) が表示されます。

[SET]

RUN/STOP 切替

R/S
rUn

パラメータセレクト設定2で設定したRUN/STOP切替が表示されます。

[SET]

イベント1
設定値 (EV1)

EV1
10.0

パラメータセレクト設定3で設定したイベント1設定値 (EV1) が表示されます。

[SET]

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

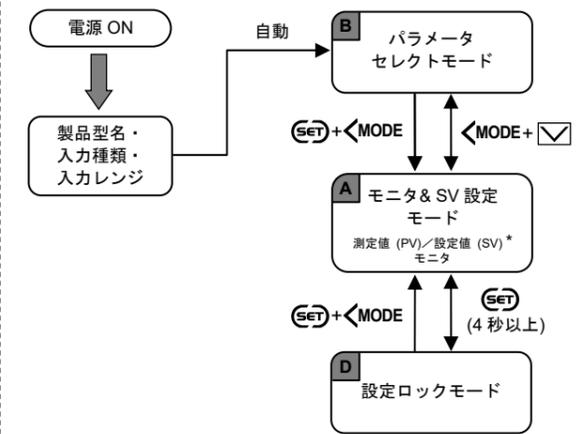
登録画面の確認終了
パラメータセレクトモードの先頭画面に戻ります。

ブラインド機能について

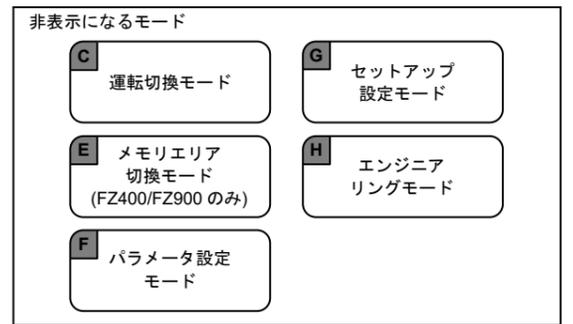
ブラインド機能を使用すると、パラメータセレクトモード、設定ロックモード、および測定値 (PV)/設定値 (SV) モニタ以外の画面をすべて非表示にできます。ブラインド機能は設定ロックモードで設定できます。

ブラインド機能を有効にすると、電源 ON 時、製品型名・入力種類・入力レンジを表示した後、最初にパラメータセレクトモードを表示します。したがって、パラメータセレクトモードに必要な画面を集めておけば、他のモードへ切り換える必要がなくなります。

[ブラインド機能有効時のモード遷移]



* 測定値 (PV)/設定値 (SV) モニタには、設定値 (SV) 設定およびマニュアル操作出力値設定を含みます。



■ ブラインド機能の設定

A. モニタ & SV 設定モード

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

[SET] (4秒以上)*

D. 設定ロックモード

設定データ
アンロック
/ロック切替

LoCK
oFF

[SET] 2回または3回押す

ブラインド機能
選択

BLINd
oFF

ブラインド機能を ON にする

[MODE+] 1回押す

BLINd
oN

設定終了

A. モニタ & SV 設定モード

入力1の測定値 (PV)/
入力1の設定値 (SV)

28.0
0.0

[MODE+] + [MODE-]

B. パラメータセレクトモード

パラメータ
セレクト
モードの先頭
画面

EV1
10.0

パラメータセレクト設定1で設定した画面が表示されます。

例: イベント1設定値 (EV1) の場合